

芸術工学府芸術工学専攻 デザイン人間科学コース

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

修士課程

（知識・理解および専門的能力）

- ・人間の形態、行動、生理特性に関する最先端の知識を有する。
- ・人工的な環境下における人間の行動を形態的および生理的な面から調べる実験を、環境適応能の観点から計画、遂行することができ、そのデータを分析および解釈することができる。
- ・ヒトの知覚システムに関する実験を計画、遂行することができる。また、ヒトの知覚に関する心理学的測定データを分析し、解釈することができる。
- ・統計学、計算機科学、機械設計の知見を利用して、生理・心理学的なデータの解析、問題の定式化、最適な解決法の提案、を行うことができる。

（汎用的能力）

- ・数理学、自然科学、応用科学の知識を活用し問題解決をはかることができる。さまざまな専門分野の人材からなるチームの一員として働くことができる。

（態度・志向性）

- ・人間の特性に関する研究を科学的な見地から理解でき、人間の特性に従った最適な環境、製品、情報を提案するための研究を、独自に、またさまざまな分野の人材によるチームの中で遂行できる。

博士後期課程

（知識・理解および専門的能力）

- ・人間の形態、行動、生理特性に関する最先端の知識を有する。
- ・人工的な環境下における人間の行動を形態的および生理的な面から調べる実験を、環境適応能の観点から計画、遂行することができ、そのデータを分析および解釈できる。
- ・ヒトの知覚システムに関する実験を計画、遂行することができる。また、ヒトの知覚に関する心理学的測定データを分析し、解釈することができる。
- ・統計学、計算機科学、機械設計の知見を利用して、生理・心理学的なデータの解析、問題の定式化、最適な解決法の提案、を行うことができる。

（汎用的能力）

- ・数理学、自然科学、応用科学の知識を活用し問題解決をはかることができる。さまざまな専門分野の人材からなるチームの一員として働くことができる。

（態度・志向性）

- ・人間の特性に関する研究を科学的な見地から理解でき、人間の特性に従った最適な環境、製品、情報を提案するための研究を、独自に、またさまざまな分野の人材によるチームの中で遂行できる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

●教育プログラム

◇教育課程の編成及び履修方法

ア 教育課程の編成

- ①全ての学生に「生理人類学」、「知覚心理学」、「生体情報数理学」の3つの分野から履修することを求め、分野の壁を越えて協力する能力を身に付けさせる。
- ②「デザイン人間科学」を構成する基本分野の内容を学問的に一貫したものとして学ぶことを求める。
- ③研究を行ううえで必要となる知識および技術を、必修の共通科目によって身に付けさせる。
- ④どの学生にも、一つの専門分野についての研究内容を修士論文、博士論文としてまとめさせる。

イ 履修方法

【修士課程（30単位以上）】

- ①コース内共通科目：12単位以上

デザイン人間科学コースのコース内共通科目として設定されている「デザイン人間科学特論A」、「デザイン人間科学特論B」（各2単位）及び「デザイン人間科学特別演習Ⅰ」「デザイン人間科学特別演習Ⅱ」（各4単位）はすべて必修である。

- ②講座内科目：6単位以上

学生各自の所属講座で開設される講義科目を6単位以上選択履修する。

- ③他講座科目：6単位以上

学生各自の所属コースにおいて所属講座以外の講座で開設される授業科目から4単位以上選択履修する。

- ④自由科目：6単位以上

芸術工学専攻修士課程の授業科目（各コースの特別演習Ⅰ及びⅡを除く）から選択履修すること。ただし、指導教員が必要と認める場合には、芸術工学府他専攻、他学府及び芸術工学部の授業科目から2単位まで選択履修することができる。

【博士後期課程（10）単位以上】

- ①修士課程との共通開設科目：4単位以上

芸術工学専攻の修士課程及び博士後期課程の共通科目として設定されている科目（各コースの特別演習Ⅰ及びⅡを除いた科目）から4単位以上を修得する。なお、修士課程で単位を修得した科目を再度履修することは原則認めない。

- ②博士後期課程独自開設科目：6単位以上

学生が指導を受ける教員等による科目を6単位以上選択履修する。

◇研究指導体制

- ①入学時に学生毎に指導教員を定め、必要であれば関連分野から副指導教員を定める。
- ②修士論文の研究テーマは、入学前に確認したことを中心に、指導教員及び副指導教員の指導のもとに決定する。
- ③指導教員及び副指導教員は、研究テーマが一連の研究手順に沿って進行していくように指導し、論文作成を指導する。
- ④指導教員及び副指導教員は、その学生の理解度、進行度等を学期ごとに評価しながら指導するものとする。1年次終了時点（博士後期課程は1年次及び2年次終了時点）で、研究の進捗状

況についての中間報告を義務付ける。

◇修了要件、成績評価基準・評価方法等

【修士課程】

ア 修了要件

課程に2年以上在学して、30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出して、その審査及び最終試験に合格することが必要である。

イ 成績評価基準・評価方法

授業科目の成績は、シラバスに記載された成績評価基準・評価方法により評価される。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

デザイン人間科学コースでは、人間の特性を科学的に探究し、人間にとって、最適な環境、物、情報の総合体を提案できる人材を育成することを目指しています。

生理人類学講座では、人間の形態および生理特性を調べることによって、安全で快適な製品や生活環境を考察するための体系的な教育研究を行います。

知覚心理学講座では、人間の知覚システムが製品や生活環境からの情報をどのように受け取り、どのように意味づけているかを考察するための体系的な教育研究を行います。

生体情報数理学講座では、人間の生理・心理計測データを解析・処理する数理工学的な基盤に立って、最適な製品や生活環境を設計するための体系的な教育研究を行います。

そのために本コースでは、デザイン人間科学を目指す明確な動機があり、探究心が旺盛な学生を求めます。